

総務局統計課 × 名古屋都市センター コラボ企画 〈まちづくりからみた NAGOYA ライフ〉

NO.1 2018/04 発行

NAGOYA ライフ

環境 3

エコカーの普及状況

<http://www.city.nagoya.jp/shisei/category/67-5-6-0-0-0-0-0-0-0.html>

について、総務局統計課と名古屋都市センターが、ワークショップを行い、意見を出し合いました。

<問い合わせ先>

総務局統計課 972-2254

都市センター調査課 678-2216

1 名古屋市内の自動車保有台数等の推移

H元年からH28年の推移をみると

保有台数：約 105 万台 → 約 123 万台（18 万台増加、+17.0%）

人口：約 215 万人 → 約 230 万人（15 万人増加、+6.8%）

となっています。これは主に人口の増加に起因しており、人口の伸びを上回るペースで保有台数が増加していますが、近年は横ばいとなっています。

区別の保有台数を比較すると、緑区、天白区、守山区、名東区などの周辺部で増加しているのに対し、中区などの都心部では、減少傾向となっています。

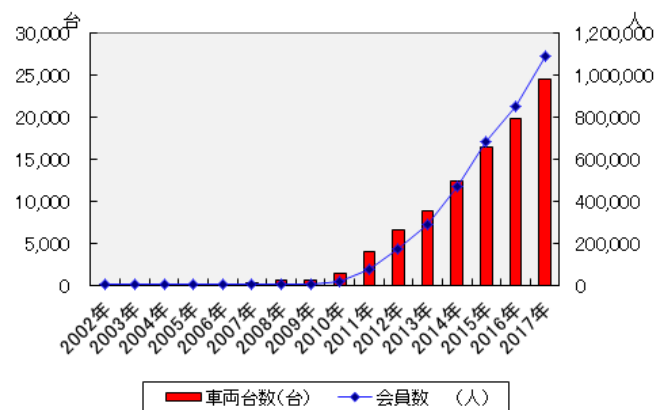
2 カーシェアリングの普及

近年、自動車の保有台数が横ばいとなる一方、新たな自動車の利用形態である「カーシェアリング」の普及が進み、車両台数、会員数が大きく増えています。また、カーシェアリング以外の分野でも、様々な分野（空間、駐車場、農地、モノ、スキル、お金など）でシェアリングが進んでいます。

※「シェアリングとまちづくり」については、都市センター発行 アーバンアドバンス No.69 で特集していますので、ぜひご覧ください。



カーシェアリング車両台数、会員数



(出典：交通エコロジー・モビリティ財団)

3 次世代エコカーの普及率（名古屋市と全国との比較）

次世代エコカー・電動車両（EV、PHV、FCV、HEV）の普及率をみると、全国平均で約9.2%であるのに対し、名古屋市の平均では約15.5%となっており、全国平均を大きく上回っています。これは、トヨタ自動車をはじめとする自動車産業が盛んな愛知県ならではの特色といえると思います。

次世代エコカー普及率（H28年度）

区分	名古屋市	全国
EV（電気自動車）	2,334台（2.6%）	89,844台
PHV（プラグインハイブリッド自動車）	1,862台（2.6%）	70,323台
FCV（燃料電池自動車）	223台（12.3%）	1,807台
EV・PHV・FCV 小計	4,419台（2.7%）	161,974台
HEV（ハイブリッド自動車）	約187,000台（2.7%）	6,971,035台
次世代エコカー 合計	約191,000台（2.7%）	7,133,009台
保有台数	1,233,399台（1.6%）	77,489,744台
次世代エコカー 普及率	15.5%	9.2%

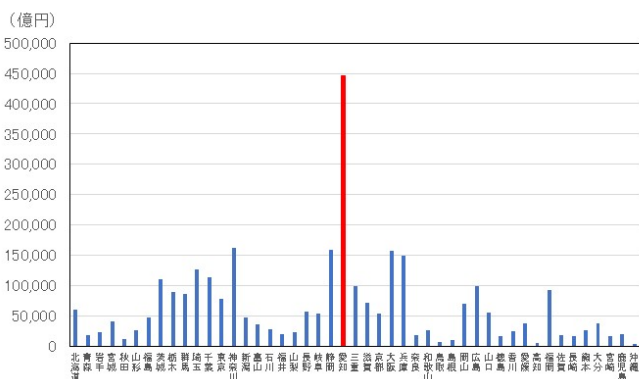
※ 括弧内は、全国に対する割合

4 モノづくり王国・愛知

愛知県の製造品出荷額等は、40年連続で日本一となっており、全国の14.9%を占め、2位の神奈川県との5.4%と比べても2倍以上であり、モノづくり王国といえます。とりわけ輸送用機械では、全国の製造品出荷額等の38.9%を愛知県が占めるなど、圧倒的となっています。

しかしながら、今後、自動車の電動化や自動運転の技術開発が進むことが予想され、愛知県の自動車産業等に大きな影響を及ぼすと考えられます。世界の潮流を見極め、変化に対応していくなど、今後もモノづくり王国であり続けるよう取り組んでいく必要があります。

都道府県別製造品出荷額等（H29工業統計（速報））



5 自動運転が及ぼす生活・まちづくりへの影響

近年、自動車の自動運転技術の技術開発が急速に進んでおり、愛知県内、名古屋市内の公道でも実証実験が進められているところです。将来的に、実用化がされると、自動回送により駐車場が大幅に不要になったり、所有からシェアリングへの移行、車内でセカンドリアクティビティが可能になるなど、私たちの生活やまちづくりに大きな影響を及ぼす要素であることから、その効果や影響、活用方法を予測・検討し、まちづくりに活かしていくことが必要となります。